



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月8日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社 エフピコ

コード番号 7947 URL <http://www.fpco.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 守正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務本部本部長 (氏名) 瀧崎 俊男

TEL 084-953-1145

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	37,229	16.1	2,503	△11.2	2,663	△9.8	1,396	△22.5
23年3月期第1四半期	32,078	4.7	2,817	4.6	2,953	5.2	1,800	△0.5

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,450百万円 (△12.3%) 23年3月期第1四半期 1,653百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	67.45	—
23年3月期第1四半期	86.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	158,014	64,683	40.9	3,123.58
23年3月期	155,738	64,440	41.4	3,111.61

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 64,652百万円 23年3月期 64,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	58.00	—	58.00	116.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		58.00	—	58.00	116.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	77,184	16.7	6,692	1.1	6,900	1.0	3,980	△0.6	192.29
通期	160,000	13.7	14,494	11.0	14,900	10.7	8,600	8.0	415.49

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	22,142,106 株	23年3月期	22,142,106 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	1,443,850 株	23年3月期	1,443,850 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	20,698,256 株	23年3月期1Q	20,873,021 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により生産や輸出が減少し、企業収益の圧迫や設備投資の鈍化など厳しい状況で推移し、景気の先行きは不透明な状況となっております。

当第1四半期連結累計期間の業績は、販売面におきましては、汎用製品及び軽量化製品の拡販に加え、「エフピコ春のミニフェア2011」の成果が効を奏し始めたこともあり、新デザイン製品や新機能製品の採用も好調で、製品売上数量は、東日本大震災による消費の落ち込みをカバーして、前期の流れを引き継いで前年同期比107.2%と順調に伸長しました。また、エコトレーを中心とした再商品化製品につきましても、前年同期比115.1%と大きく伸長しました。製品売上高は、販売数量が大きく伸びたこと、ダイヤフーズ(株)製鶏卵パックや農産品向け容器の販売が寄与したことなどにより、前年同期比109.9%と順調に推移しました。

一方、商品売上高は、平成22年10月にグループ化した包装資材問屋インターパック(株)の売上が加わったこと、商品取扱量の拡大に努めたことなどにより、前年同期比136.9%となりました。

この結果、売上高は372億29百万円、前年同期比で51億50百万円の増収(前年同期比116.1%)となり、第1四半期連結累計期間としては過去最高の売上高となりました。

利益面におきましては、前期第4四半期連結会計期間から当社製品の原材料価格は次第に高騰を続け、原材料コストは前年同期に比べ7億円の増加となりました。また、その他経費等の増加3億90百万円があった一方、製品売上数量の増加及び新製品の売上が好調だったことに加え、商品取扱量の増加、さらには生産及び物流をはじめとしたグループ全体でのコスト改善も加わり、これら利益改善額は総額8億円となり、その結果、当第1四半期連結累計期間の経常利益は26億63百万円(前年同期比90.2%)、また、特別損失には、東日本大震災に関わる費用1億89百万円及び電力制限対策費(自家発電機移設費用)51百万円、合計2億41百万円を計上し、第1四半期連結累計期間の四半期純利益は13億96百万円(前年同期比77.5%)となりました。

なお、平成23年4月22日発表の製品値上げにつきましては、すでに決着しております。

また、平成23年5月より、中部第2配送センターとアイ・ロジック中部ピッキングセンターが稼働し、中部地区のお客様に対する物流品質及びサービスレベルの更なる向上を図るとともに、流通コスト削減の提案を押し進めております。加えて、平成22年12月に中部リサイクル工場において稼働したPETメカニカルリサイクルプラントで生産される再生PETフレックを食品容器用途に使用することについて、平成23年5月16日には、米国食品医薬品局(FDA)よりNo Objection Letter(NOL)を取得し、PET樹脂においても、再商品化製品の上市に向けて準備をすすめております。

さらには、PET2軸延伸製品(耐熱性向上と強度アップを実現したPET透明容器では世界初となる2軸延伸シートからの成型品)の生産と商品取扱量拡大のためのアイ・ロジック関東ピッキングセンターの拡充を目的とした関東新工場の建設に着手いたしました。関東新工場は、来春の稼働を予定しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、1,580億14百万円となり、前連結会計年度末に比べて22億76百万円増加いたしました。

これは、主に現金及び預金3億38百万円増加、受取手形及び売掛金の6億26百万円増加、商品及び製品10億53百万円並びに有形固定資産合計8億51百万円などの増加、その他流動資産4億31百万円などの減少によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて20億32百万円増加し933億31百万円となりました。

これは、主に支払手形及び買掛金6億83百万円増加、短期借入金、コマーシャル・ペーパー及び長期借入金合計12億51百万円などの増加によるものであります。

また、純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2億43百万円増加し646億83百万円となりました。

これは、主に利益剰余金1億94百万円の増加、その他有価証券評価差額金52億百万円の増加などによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末より3億38百万円増加し、136億11百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、32億3百万円(前年同期は27億60百万円の資金獲得)となりました。

これは、主に税金等調整前四半期純利益24億20百万円と減価償却費22億37百万円及び仕入債務の増加6億85百万円による資金の増加、他方、売上債権の増加6億23百万円とたな卸資産の増加10億78百万円及び法人税等の支払23億29百万円による資金の減少などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、22億75百万円(前年同期は17億9百万円の使用)となりました。

これは、主にピッキングセンター及び工場の生産設備等固定資産の取得などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、5億89百万円(前年同期は9億44百万円の資金獲得)となりました。

これは、主に借入金等の純増加額12億51百万円による資金の増加、他方、配当金の支払11億56百万円及びリース債務の返済による支出6億84百万円による資金の減少などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、原材料価格動向に加えて、景気は足踏み状態が続き、依然として先行き不透明な状況が予想されます。平成24年3月期の連結業績につきましては、平成23年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,273	13,611
受取手形及び売掛金	31,540	32,167
販売用不動産	12	12
商品及び製品	12,573	13,626
仕掛品	144	146
原材料及び貯蔵品	1,976	1,974
その他	4,538	4,107
貸倒引当金	△47	△56
流動資産合計	64,011	65,588
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,469	35,155
機械装置及び運搬具（純額）	8,240	8,204
土地	26,384	26,384
リース資産（純額）	9,455	8,860
その他（純額）	5,694	5,490
有形固定資産合計	83,244	84,096
無形固定資産		
のれん	2,192	2,057
その他	963	916
無形固定資産合計	3,155	2,973
投資その他の資産	5,327	5,356
固定資産合計	91,727	92,426
資産合計	155,738	158,014
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,905	19,588
短期借入金	19,250	21,742
コマーシャル・ペーパー	15,000	15,000
未払法人税等	2,465	1,123
賞与引当金	1,576	900
役員賞与引当金	90	24
その他	9,396	12,017
流動負債合計	66,685	70,397
固定負債		
長期借入金	14,135	12,895
退職給付引当金	1,837	1,869
役員退職慰労引当金	1,047	1,050
その他	7,591	7,118
固定負債合計	24,612	22,933
負債合計	91,298	93,331

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,150	13,150
資本剰余金	15,843	15,843
利益剰余金	40,092	40,286
自己株式	△4,937	△4,937
株主資本合計	64,148	64,343
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	256	308
その他の包括利益累計額合計	256	308
少数株主持分	35	31
純資産合計	64,440	64,683
負債純資産合計	155,738	158,014

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	32,078	37,229
売上原価	22,391	26,502
売上総利益	9,687	10,726
販売費及び一般管理費	6,869	8,222
営業利益	2,817	2,503
営業外収益		
受取利息	6	2
受取配当金	48	40
補助金収入	108	167
その他	128	105
営業外収益合計	290	315
営業外費用		
支払利息	123	107
コマーシャル・ペーパー利息	3	5
その他	28	42
営業外費用合計	155	156
経常利益	2,953	2,663
特別利益		
固定資産売却益	0	—
貸倒引当金戻入額	52	—
賞与引当金戻入額	33	—
その他	0	—
特別利益合計	86	—
特別損失		
固定資産除売却損	10	0
災害による損失	—	241
特別損失合計	10	242
税金等調整前四半期純利益	3,029	2,420
法人税、住民税及び事業税	1,062	1,095
法人税等調整額	165	△73
法人税等合計	1,228	1,022
少数株主損益調整前四半期純利益	1,801	1,397
少数株主利益	0	1
四半期純利益	1,800	1,396

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,801	1,397
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△148	52
その他の包括利益合計	△148	52
四半期包括利益	1,653	1,450
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,652	1,448
少数株主に係る四半期包括利益	0	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,029	2,420
減価償却費	2,020	2,237
災害損失	—	241
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△703	△676
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△52	△66
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△61	5
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	16	2
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	35	31
固定資産除売却損益 (△は益)	10	0
受取利息及び受取配当金	△54	△42
支払利息	127	113
売上債権の増減額 (△は増加)	△378	△623
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△298	△1,078
未収入金の増減額 (△は増加)	395	542
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,378	685
その他	746	2,042
小計	6,210	5,836
利息及び配当金の受取額	54	42
利息の支払額	△130	△108
災害損失の支払額	—	△239
法人税等の支払額	△3,374	△2,329
その他	0	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,760	3,203
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,862	△2,272
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△115	—
長期貸付けによる支出	△47	△7
長期貸付金の回収による収入	439	56
その他	△122	△52
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,709	△2,275
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,800	△100
長期借入れによる収入	3,500	4,000
長期借入金の返済による支出	△5,236	△2,648
リース債務の返済による支出	△778	△684
配当金の支払額	△1,039	△1,156
その他	△300	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	944	△589
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,995	338
現金及び現金同等物の期首残高	11,102	13,273
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,098	13,611

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。